久留米工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語表現1

科目基礎情報

科目番号	1E08	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電気電子工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	Vision Quest English Expression I Standard (keirinkan)　ビジョン・クエスト「総合英語」＋基本例文集＋確認問題集　啓林館		
担当教員	金城 博之		

到達目標

1.演習を通じて英語の基礎的な文法を習得する。
2.習得した文法を「読む」「書く」「話す」「聞く」ことに応用できるようにする。
3.日常生活に必要な語句や表現を身に付け、英語を使った初歩的なコミュニケーションができるようにする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 英語の基礎的な文法を習得する	高等学校1年レベルの基礎的な英文法の知識を習得している	高等学校1年レベルの英文法について、参考書を見て理解できる	文法の参考書を見ても基礎的な文法がわからない
評価項目2 文法知識を実際に活用できる	英語による簡単な発話・作文ができる	文法的な間違いはあっても英語で簡単な意思疎通ができる	簡単な内容を英語で発信しても相手にほとんど意図が伝わらない
評価項目3 日常生活に必要な語彙を習得している	教科書に出てきた単語・熟語は全て習得している	教科書に出てきた単語・熟語の8割以上を習得している	教科書に出てきた単語・熟語の習得率が6割以下である

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	中学校での学習内容を踏まえ、基礎的な文法事項について学習し、演習問題で確認しながら英語の基礎能力の育成を目指す。
授業の進め方・方法	授業はテキストに沿って進める。小テストや課題を随時課し平常点とする。
注意点	評価基準：60点以上を合格とする。（配分：定期試験80%、課題20%）再試は必要に応じて実施する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Introduction　シラバスの説明	授業の進め方と学習の方法、及び評価法を理解する。
		2週	Lesson 1　L e t 's have lunch togehter sometime.　Exercises	自己紹介に使う表現を学ぶ。 文の種類
		3週	Lesson 2 Are you interested in Japanese anime?	興味・関心の表現を理解する。 文型と動詞
		4週	Lesson 2 Exercises	5つの文型を理解する。
		5週	Lesson 3 I'm going to Okinawa with my family.	旅行に関する表現を学ぶ。 時制
		6週	Lesson 3 Exercises	現在形・現在進行形・未来について述べる表現を理解する。
		7週	文型と時制：復習	文型と時制について復習し定着を図る。
		8週	Lesson 4 I hear you've joined the soccer team.	スポーツに関する表現を学ぶ。 完了形
	2ndQ	9週	Lesson 4 Exercises	過去完過去形と現在完了、過去完了の違いを理解する。
		10週	Lesson 5 Can you tell me what anmitsu is like?	食事に関する表現を学ぶ。 助動詞
		11週	Lesson 5 Exercises　1,2	助動詞の基本用法を理解する。
		12週	Lesson 5 Exercises　3	助動詞の慣用的な用法を理解する。
		13週	Lesson 6 I'm glad I can see the Sydney Opera House.	観光に関する表現を学ぶ。 受動態
		14週	Lesson 6 Exercises	基本的な受動態に加え、否定・未来形・進行形・完了形を練習する。
		15週	Lesson 7 It's nice of you to say so.	交際に関する表現を学ぶ。 不定詞
		16週		
後期	3rdQ	1週	Lesson 7 Exercises1, 2	不定詞の基本的用法を理解する。
		2週	Lesson 7 Exercises 3	不定詞を使った慣用表現を理解する。
		3週	Lesson 8 How about going to see a musical?	娯楽に関する表現を学ぶ。 動名詞
		4週	Lesson 8 Exercises	動名詞の意味と用法を理解する。
		5週	Lesson 9 I'm for school uniforms.	ルールに関する表現を学ぶ。 分詞
		6週	Lesson 9 Exercises	分詞の用法及び分詞構文を理解する。
		7週	動名詞・分詞：復習	動名詞と分詞を復習し、定着を図る。
		8週	Lesson 10 How do you spend Christmas?	文化に関する表現を学ぶ。 関係詞
	4thQ	9週	Lesson 10 Exercises 1,2	関係代名詞の基本的用法に加え、whatの使い方や非限定用法を理解する。

		10週	Lesson 10 Exercises 3	関係副詞を理解する。
		11週	Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night?	社会問題に関する表現を学ぶ。 比較
		12週	Lesson 11 Exercises	基本的な比較表現に加え、慣用的な用法を理解する。
		13週	Lesson 12 I wish my parents were more understanding.	悩み事に関する表現を学ぶ。 仮定法
		14週	Lesson 12 Exercises	仮定法過去・仮定法過去完了を理解する。
		15週	比較・仮定法：復習	比較と仮定法を復習し、定着を図る。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	前1,前2,前4,前11,後3
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前4,前11,後3
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前3,前5,前6,前7,前9,前10,前12,前13,前14
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前3,前5,前6,前7,前9,前10,前12,前13,前14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前2,前4,前11,後3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前2,前4,前11,後3
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前2,前4,前11,後3
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前8,前15,後5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前8,前15,後5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前8,前15,後5
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前2,前4,前11,後3
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	前2,前4,前11,後3
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	前2,前4,前11,後3
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	前8,前15,後5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	前8,前15,後5
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	前8,前15,後5
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前8,前15,後5
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	前8,前15,後5
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	前8,前15,後5
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	前2,前4,前11,後3
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	前8,前15,後5
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	前8,前15,後5
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	前8,前15,後5
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	前8,前15,後5

評価割合

	試験					小テスト等	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0